

呼吸器専門医研修ネットワークプログラム

1 はじめに

プログラムリーダー 沼津市立病院 呼吸器内科部長 吉田康秀

まず、呼吸器内科は、感染症から悪性疾患・免疫関連疾患・喫煙関連疾患等扱う疾患がとても多彩であり、救命のための手技などにも必要な大変やりがいのある診療科といえます。

しかし、残念ながら、現在静岡県東部は呼吸器内科を持つ施設が少ない地域です。そのため、呼吸器内科の診断治療を必要とする患者さんはこのプログラムにある施設に集まりますので、このプログラムに参加していただければ、集中的に多彩な疾患の診断治療技術を経験習得できます。また、日本の肺癌治療をリードする「静岡がんセンター」での研修も可能な上に、救急救命センターを備えた研修先もあることから、専門的な肺癌治療や救急対応の技術も身につけることができます。さらに、そこで活躍する呼吸器内科スタッフの熱意はどの地域にも引けをとりませんので、研修は大変実りあるものとなるはずです。

また、地域の研究会やカンファレンスも盛んであるばかりでなく、東京にも1時間で行ける立地条件にあることから、都心での大きな研究会参加も大変容易です。

どうぞ一緒にこの地域で活躍してみませんか。



2 特徴

それぞれの研修施設には日本呼吸器内科学会の認定医あるいは指導医がおり、「日本呼吸器学会の研修カリキュラム」に準拠して責任を持って指導にあたります。

一般呼吸器内科医として経験すべき多彩な症例があり、気管支鏡はもちろんのこと、必要な手技・検査については十分な症例数を確保できます。肺癌の診断治療では、先にも述べたように、最先端の診療技術を学べる点は他に類をみない大きな特徴です。

研修後は一部病院群のスタッフ医師になることもできます。また、大学院への進学を希望ならば、多彩な出身大学の医師がいますので、希望に応じた十分な支援を心がけます。

3 目的

他職種とのチーム医療を率先して行い、「技術ばかりでなく、人間的にも優れた呼吸器内科医」の育成を目指します。

4 目標

気道・肺疾患、胸膜疾患、横隔膜疾患、縦隔疾患、胸郭・胸壁の疾患の各種症例を経験することはもちろん、気管切開や人工呼吸器管理、NIPPV、胸腔ドレナージ、内視鏡的治療、気管支鏡検査などの治療手技や検査手技を積極的に取得していただきます。

5 研修カリキュラム

「日本呼吸器学会 研修カリキュラム」に即して指導します。

6 研修例

研修病院の組合せや各病院の研修期間は相談の上で個別に設定します。

【例】

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	沼津市立病院											
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	沼津市立病院											
3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	国際医療福祉大学熱海病院											
4年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	静岡がんセンター											

7 研修病院群

認定施設

国際医療福祉大学熱海病院

当科では気管支喘息、COPD、肺感染症、間質性肺炎、肺癌等の呼吸器疾患全般を対象としています。呼吸器・アレルギー専門医の指導の下で理学的所見、呼吸機能・画像検査の理解、気管支鏡検査、治療法を修得します。呼吸器専門医制度は、先ず日本内科学会認定医を所得する必要がありますのでプログラムには認定内科医を所得できるよう内科学全般を学べるように考慮されています。この間、症例報告等の学会発表を年に一度はするように指導を行っています。当院での研修メリットは、ほぼマンツーマンの指導が受けられること、当大学は栃木・東京・福岡にも関連病院を有する為に希望があれば短期間希望の病院でも研修が可能です。また、宿舎をはじめアメニティーが完備されています。東京から電車で1時間のアクセス良さに加えて海あり、山あり、温泉あり風光明媚な“日本のモナコ”とも称されるリゾート地で研修をエンジョイしませんか。

静岡県立静岡がんセンター

指導医： 3名、専門医： 4名

指導医 高橋利明(1990年 広島大学医学部卒) 村上晴泰(1996年 広島大学医学部卒)

鈿持広知(1999年 横浜市立大学医学部卒)

専門医 高橋利明(1990年 広島大学医学部卒) 村上晴泰(1996年 広島大学医学部卒)

内藤立暁(1997年 浜松医科大学卒) 鈿持広知(1999年 横浜市立大学医学部卒)

遠くに駿河湾を臨み、富士山の裾野に位置する「静岡県立静岡がんセンター」。

国内最高水準のがん専門病院として医療関係者のみならず患者さんからの評価が高い当病院

では、最新医療を行うことはもとより、患者さんの心のケアに主眼を置いた、患者さん本位の病院作りを進めています。

当病院の呼吸器内科では、肺がんを中心に転移性肺腫瘍や肺良性腫瘍などの肺・気管・気管支の腫瘍性病変、縦隔腫瘍、胸壁・胸膜腫瘍など、胸部腫瘍性疾患の診断と治療を行っています。患者さんの診断治療方針は、他診療科との合同カンファレンスにて決定します。

診断では、高分解能 CT や気管支鏡、経皮針生検、CT ガイド下肺生検、PET、胸腔鏡下肺生検などを、治療では、抗がん剤療法（化学療法）を中心に他科と協力しながら病態に応じた治療方法の選択を行っています。

また、最新の治療方法を提供する手段として、治験薬の導入や各種臨床試験への参加も積極的に行っています。

沼津市立病院

指導医： 2 名

日本呼吸器学会認定医・指導医 吉田康秀(1982年 千葉大学医学部卒)

飯岡義教(1989年 弘前大学医学部卒)

- 1) 静岡県東部の基幹病院として症例数が多いことが特徴。特に近隣の呼吸器内科が撤退し、まさに当院が地域の呼吸器内科中核病院になっている。
- 2) 呼吸器内科は日本呼吸器学会指導医の資格を持つ医師2名と医員2名で構成され、研究会や学会等で積極的に発表を行っている。また、呼吸器外科とも密に連携しながら、手術対応や外科的肺生検等も十分に対応可能。
- 3) 半年間の循環器内科研修を必修にしているため、呼吸器内科医に必須な循環器の知識と技能を身につけることができる。
- 4) ドクターヘリも着く救命救急センターを備え、救急対応についての勉強も可能である。
- 5) 院内各科の垣根が低く、全科の協力体制が大変取りやすい。
- 6) 静岡がんセンターも近く、癌研修や研究会等の参加機会があり、また、感染症科の月2回行われる勉強会参加も可能。
- 7) 東京にも1時間と近いため学会・研究会等の参加も容易。
- 8) 伊豆や箱根の観光地も近く、仕事ばかりでなく気分転換にも好適立地。

順天堂大学医学部附属静岡病院

8 病院群の実績（平成 26 年 1 月～12 月末）

	認定施設			
	熱海病院 国際医療福祉大学	県立静岡がんセンター	沼津市立病院 ※	順天堂大学附属静岡病院
気管支鏡検査 (入院＋外来)	10	629	119	—
肺がん (入院症例のみ)	35	722	93	—
肺感染症 (入院症例のみ)	117	32	183	—
COPD・喘息 (入院症例のみ)	18	0	52	—
間質性肺疾患 (入院症例のみ)	11	6	68	—
人工呼吸管理・NIPPV (入院症例のみ)	27	3	32	—
在宅酸素療法 (外来症例のみ)	53	80	48	—
入院人数 (呼吸器内科のみ)	80	862	527	—

※は前年の実績

9 研修期間

4年間（資格取得まで）

10 プログラム参加者の要件

呼吸器専門医を取得する意思があり、本プログラムに賛同してくださること。

11 処遇

- 1) 身分
- 2) 給与
- 3) 健康保険等の福利厚生制度
- 4) 医師賠償責任保険
- 5) 休日等
- 6) 宿舎
- 7) 学会費用

原則として、研修する病院の規定に従う。

12 プログラム修了後の進路

- 1) 研修病院群への就職が可能
- 2) 研修病院群が関連する大学医局への入局が可能

13 プログラム運営委員（◎：プログラムリーダー）

◎ 沼津市立病院 吉田康秀 呼吸器内科部長(1982年 千葉大学医学部卒)

昭和57年千葉大学卒業。学生時代は硬式野球部に所属し、守備位置はキャッチャーでした。平成3年より沼津市立病院で呼吸器内科医として仕事をし、傍ら、HIV診療にも興味を持ち、現在50名程度の患者様の診療を担当しています。そのことが縁となり、現在中学校や高校での性教育のお手伝いもしています。



野球もそうですが、医師ばかりでなく他職種を含めた「チームワークを大切にすること」をモットーにしています。当院で研修をしていただく皆さんと一緒に、熱い気持ちで頑張っていきたいと思っております。

国際医療福祉大学熱海病院 呼吸器内科教授 星野 誠(1984年 東邦大学医学部卒)

当院は日本内科学会教育関連病院をはじめ日本呼吸器学会認定施設、日本アレルギー学会認定教育施設、呼吸器外科認定関連施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設であります。呼吸器内科は常勤1人（非常勤3名）、呼吸器外科は非常勤3名で密接な関係をもって診療に携わっています。特に気管支喘息・COPDを専門としており、静岡県東部地区の地域基幹病院として幅広い医療を行っております。

静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科部長 高橋利明（1990年 広島大学医学部卒）

静岡がんセンターはがん診療に特化した専門病院です。特色といたしましては、全国有数の規模の緩和医療病棟を有していることと、新規抗がん剤の開発に積極的に取り組んでいること

が挙げられます。すなわち、最先端の医療からターミナルケアまで、がん治療に関わる全てのことを学んでいただける施設であることを自負しております。

その中で呼吸器内科は、胸部悪性腫瘍の内科的治療および診断を専門としており、呼吸器外科・放射線治療科・画像診断科と密接に連携を取りながら、診療を行っております。

呼吸器内科常勤医師7名、レジデントなどの非常勤4～5名で、1日70～80人の外来患者及び70～80人の入院患者に対応しております。

一時期でも、がん診療にどっぷりとつかりたいという気持ちがあれば、ぜひ当院での研修に取り組んでください。